

平成28年度再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

ア. 預託方法別の預託台数

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	実績(a)	年度想定(b)	想定比(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	508万台	512万台	99%	494万台	13万台	103%
引取時預託(後付預託を除く)	4万台	3万台	110%	4万台	△1万台	84%
合計(A)	511万台	515万台	99%	499万台	13万台	103%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	2万台	2万台	103%	3万台	△1万台	79%
預託台数合計(A)+(B)	514万台	518万台	99%	502万台	12万台	102%

イ. 品目別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異 (a)-(c)
	実績(a)	年度想定(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,480円	6,400円	80円	6,390円	90円
エアバッグ類	2,070円	2,090円	△20円	2,090円	△20円
フロン類	1,800円	1,840円	△40円	1,830円	△30円
合計	10,350円	10,330円	20円	10,310円	40円

ウ. 品目別の装備率(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異 (a)-(c)
	実績(a)	年度想定(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	99%	99%	0	99%	0
フロン類	99%	99%	0	99%	0

エ. 金額

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	52,820百万円	53,123百万円	99%	51,347百万円	1,473百万円	103%

情報管理預託金預り収入

ア. 預託方法別の預託台数

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	実績(a)	年度想定(b)	想定比(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	508万台	512万台	99%	494万台	13万台	103%
引取時預託	4万台	3万台	110%	4万台	△1万台	84%
合計(A)	511万台	515万台	99%	499万台	13万台	103%

イ. 金額

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	665百万円	670百万円	99%	648百万円	16百万円	103%

②預託金預り収入計

金額

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	53,484百万円	53,793百万円	99%	51,995百万円	1,489百万円	103%

②特定資産運用収入

再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	9,690百万円	9,489百万円	102%	10,441百万円	△751百万円	93%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数は、概ね想定どおりであった。新車販売台数について、登録車は想定を上回ったが、軽自動車は想定を下回った。
《参考》(一社)日本自動車工業会は平成28年度国内新車需要見通しを526万台としていたが(平成28年3月17日発表)、消費税率引上げ時期を延期するとの政府方針が示されたこと等を受けて、485万台に見直した(平成28年9月15日発表)。

《新車購入時預託台数実績》

		1Q		2Q		3Q		4Q		合計	
		実績	想定	実績	想定	実績	想定	実績	想定	実績	想定
平成28年度実績	登録車 ^(※1)	108万台	72万台	123万台	82万台	119万台	78万台	158万台	103万台	508万台	336万台
	軽自動車		35万台		41万台		41万台		55万台		172万台
平成27年度実績	登録車 ^(※1)	110万台	69万台	123万台	80万台	114万台	72万台	147万台	92万台	494万台	312万台
	軽自動車		41万台		43万台		42万台		55万台		181万台
平成28年度想定	登録車	115万台	72万台	129万台	81万台	116万台	73万台	152万台	95万台	512万台	322万台
	軽自動車		43万台		48万台		43万台		57万台		190万台
平成28年度自工会見通し ^(※2)	登録車	107万台	67万台	122万台	77万台	111万台	70万台	145万台	91万台	485万台	306万台
	軽自動車		40万台		45万台		41万台		54万台		179万台

※1 (一社)日本自動車販売協会連合会及び(一社)全国軽自動車協会連合会発表の新車販売台数

※2 四半期毎の台数は、過去10年間の新車時預託台数実績の比率を基に本財団が試算。

○引取時預託台数(後付預託を除く)は、想定を上回った。

○ASR平均単価は、前年度実績を基に作成した予算単価を上回った。エアバッグ類及びフロン類の平均単価は、概ね想定どおり。

○各品目の装備率は、想定どおり。

以上のとおり、預託台数合計では概ね想定どおりとなったことから、再資源化等預託金預り収入は、概ね予算どおりとなった。

【平成27年度実績との比較】

○新車購入時預託台数は、平成27年度実績を上回った。

○ASR平均単価は、新車販売台数に占める登録自動車の比率が前年度実績を上回った(前年度63%→今年度66%)ことから、平成27年度実績を上回った。

以上のとおり、新車購入時預託台数が平成27年度実績を上回ったため、再資源化等預託金預り収入は、平成27年度実績を上回った。

《品目別預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)》

	平成28年度実績		平成28年度想定		平成27年度実績	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,480円	5,760円	6,400円	5,670円	6,400円	5,700円
エアバッグ類	2,070円	2,360円	2,090円	2,330円	2,090円	2,330円
フロン類	1,800円	2,120円	1,840円	2,130円	1,830円	2,130円
合計	10,350円	10,240円	10,330円	10,130円	10,320円	10,160円

《品目別預託方法別の装備率》

	平成28年度実績		平成28年度想定		平成27年度実績	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	99%	38%	99%	34%	99%	35%
フロン類	99%	32%	99%	30%	99%	31%

【予算との比較】

預託台数合計では概ね想定どおりとなったことから、情報管理預託金預り収入は、概ね予算どおりとなった。

【平成27年度実績との比較】

情報管理預託金預り収入は、平成27年度実績を上回った。

【予算との比較】

預託台数合計では概ね想定どおりとなったことから、預託金預り収入計は、概ね予算どおりとなった。

【平成27年度実績との比較】

預託金預り収入計は、平成27年度実績を上回った。

《新車購入時・引取時別の預託金預り収入の内訳》

	平成28年度		
	実績(a)	年度想定(b)	執行率(a)/(b)
新車購入時預託	53,165百万円	53,508百万円	99%
引取時預託	319百万円	285百万円	112%
合計	53,484百万円	53,793百万円	99%

【予算との比較】

マイナス金利の影響から、残存年限10年の国債を購入できなかった上半期において、想定より高い利率の残存年限11年以上の国債を購入したことが影響して、特定資産運用収入は、予算を上回った。

【平成27年度実績との比較】

保有債券の残高は前年に比べ増加したが、保有債券全体の利率の低下(1.11%→1.04%)により、特定資産運用収入は、平成27年度実績を下回った。

《保有債券残高実績》

平成28年度末残高	平成27年度末残高
9,148億円	8,848億円

2. 事業活動支出

① 預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

ア. 品目別の払渡台数

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	実績(a)	年度想定(b)	想定比(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	299万台	320万台	93%	309万台	△10万台	97%
エアバッグ類	236万台	254万台	93%	235万台	0万台	100%
フロン類	269万台	287万台	94%	275万台	△5万台	98%

イ. 品目別の平均単価

	平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異 (a)-(c)
	実績(a)	年度想定(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,100円	6,120円	△20円	6,120円	△20円
エアバッグ類	2,330円	2,300円	30円	2,300円	30円
フロン類	2,080円	2,080円	0円	2,080円	0円

ウ. 金額

実績(a)	平成28年度		平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
29,317百万円	31,347百万円	94%	30,027百万円	△710百万円	98%

【予算との比較】

○引取業者引取台数は、想定を下回った。想定は平成29年4月の消費増税を前提として、新車販売台数の駆込み需要に伴う引取台数の増加等を考慮して算出した。

○各品目の払渡台数は、引取業者引取台数の減少等により、いずれも想定を下回った。

○各品目の平均単価は、いずれも概ね想定どおり。

以上のとおり、主として引取業者引取台数が減少したことから、再資源化等預託金払渡支出は、予算を下回った。

《引取業者引取台数実績》

実績(a)	平成28年度		平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	年度想定(b)	想定比(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
310万台	330万台	94%	316万台	△6万台	98%

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成28年度		平成27年度 実績
	実績	年度想定	
エアバッグ類	77%	78%	75%
フロン類	88%	88%	88%

【平成27年度実績との比較】

○各品目の払渡台数は、ASRとフロン類は前年実績を下回り、エアバッグ類は前年実績と同水準。

○各品目の平均単価は、いずれも平成27年度実績と同水準。

以上のとおり、再資源化等預託金払渡支出は、平成27年度実績を下回った。

情報管理預託金払渡支出

ア. 台数

実績(a)	平成28年度		平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	年度想定(b)	想定比(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
308万台	327万台	94%	316万台	△8万台	97%

イ. 金額

実績(a)	平成28年度		平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
551百万円	578百万円	95%	524百万円	27百万円	105%

【予算との比較】

○情報管理預託金払渡台数は、想定を下回った。

○単価230円の情報管理預託金払渡台数の比率は、概ね想定どおり。

以上のとおり、情報管理預託金払渡支出は、予算を下回った。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成28年度実績		平成28年度想定		平成27年度実績	
	払渡台数	比率	払渡台数	比率	払渡台数	比率
130円	156万台	51%	174万台	53%	203万台	64%
230円	151万台	49%	153万台	47%	113万台	36%
合計	308万台	100%	327万台	100%	316万台	100%

【平成27年度実績との比較】

○情報管理預託金払渡台数は、平成27年度実績を下回った。

○単価230円の情報管理預託金払渡台数の比率は、平成27年度実績を上回った。

以上のとおり、情報管理預託金払渡支出は、平成27年度実績を上回った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

実績(a)	平成28年度		平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
3,715百万円	3,964百万円	94%	3,469百万円	246百万円	107%

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出は、予算を下回った。

【平成27年度実績との比較】

払渡台数は平成27年度実績と比べて減少したものの、1台あたりの利息単価が平成27年度実績を上回った(例: ASR利息単価実績: 700円→770円)ことから、未払再資源化預託金等利息支払支出は、平成27年度実績を上回った。

《各年度の利率》

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%	1.330%	1.299%	1.236%	1.163%	1.062%

※3 利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払渡支出計

金額

実績(a)	平成28年度		平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
33,583百万円	35,890百万円	94%	34,020百万円	△437百万円	99%

【予算との比較】

引取業者引取台数の減少等により、各品目の払渡台数がいずれも想定を下回ったことから、預託金払渡支出計は、予算を下回った。

【平成27年度実績との比較】

各品目の払渡台数が概ね平成27年度実績と同水準であったことから、預託金払渡支出計は、平成27年度実績と同水準となった。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

ア. 台数

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度想定(b)	想定比(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
134万台	150万台	90%	149万台	△15万台	90%

イ. 平均単価

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度想定(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
11,420円	11,480円	△60円	11,460円	△40円	

ウ. 金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
15,324百万円	17,225百万円	89%	17,054百万円	△1,730百万円	90%

【予算との比較】

○今般の経済情勢等(※4)の影響による中古車輸出の減少により、輸出返還台数は想定を下回った。

※4 中古車輸出が減少した一因として、輸出先の国別上位に挙がるスリランカ、ミャンマーに減少要因があったと考えられる。

・スリランカ向け輸出台数：平成27年4月～平成28年3月 50,725台 ⇒ 平成28年4月～平成29年3月 28,107台 (22,618台減少、前年同期比55%)

要因：関税率の引上げ、現地通貨安

・ミャンマー向け輸出台数：平成27年4月～平成28年3月 137,258台 ⇒ 平成28年4月～平成29年3月 118,220台 (19,038台減少、前年同期比86%)

要因：自動車輸入時における車庫証明書の添付義務化、右ハンドル車の輸入原則禁止(平成29年1月より)

《参考》浜銀総合研究所 <https://www.yokohama-ri.co.jp/html/report/pdf/shinsha1702.pdf>

○輸出返還平均単価は、概ね想定どおり。

以上のとおり、主として輸出返還台数の減少により、再資源化預託金等輸出返還支出は予算を下回った。

《輸出返還台数実績》

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
平成28年度実績	33万台	35万台	32万台	35万台	134万台
平成28年度想定	38万台	38万台	38万台	38万台	150万台
平成27年度実績	38万台	36万台	37万台	38万台	149万台

【平成27年度実績との比較】

○輸出返還台数は、平成27年度実績を下回った。

○輸出返還平均単価は、平成27年度実績と同水準。

以上のとおり、再資源化預託金等輸出返還支出は、平成27年度実績を下回った。

【参考】輸出返還平均単価の推移

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
9,720円	10,470円	10,760円	10,760円	11,140円	11,190円	11,170円	11,250円	11,420円	11,460円	11,420円

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
1,552百万円	1,719百万円	90%	1,588百万円	△367百万円	98%

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出は、利息単価が想定を下回ったことから、予算を下回った。

《利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

	平成28年度			平成27年度	
	実績(a)	想定(b)	差異(a)-(b)	実績(c)	実績対前年度差異(a)-(c)
利息単価	1,173円	1,200円	△27円	1,089円	84円

《預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成28年度		
	実績	年度想定	想定比
平成16年度	9万台	12万台	74%
平成17年度	35万台	36万台	96%
平成18年度	28万台	27万台	104%
平成19年度	14万台	16万台	88%
平成20年度	6万台	9万台	71%
平成21年度	7万台	9万台	78%
平成22年度	8万台	11万台	71%
平成23年度	9万台	9万台	99%
平成24年度	5万台	6万台	84%
平成25年度	5万台	5万台	109%
平成26年度	3万台	3万台	78%
平成27年度	4万台	5万台	75%
平成28年度	2万台	2万台	101%
合計	134万台	150万台	90%

※5 利息は預託年度に応じて複利計算される。

※6 当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

【平成27年度実績との比較】

輸出返還する自動車1台あたりの利息単価が、平成27年度実績を上回った(台あたり利息単価実績:1,089円→1,173円)ものの、輸出返還台数が平成27年度同期実績と比べて減少したことから、未払再資源化預託金等利息支払支出は、平成27年度同期実績を下回った。

《各年度の利率》

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%	1.330%	1.299%	1.236%	1.163%	1.062%

預託金輸出返還支出計

金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
16,876百万円	18,943百万円	89%	18,642百万円	△1,766百万円	91%

【予算との比較】

今般の経済情勢等の影響による中古車輸出の減少により、輸出返還台数が想定を下回ったことから、預託金輸出返還支出計は、予算を下回った。

【平成27年度実績との比較】

輸出返還台数が平成27年度実績を下回ったことから、預託金輸出返還支出計は、平成27年度実績を下回った。

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b) ^(※8)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
136百万円	136百万円	100%	119百万円	17百万円	114%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b) ^(※8)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
17百万円	17百万円	100%	13百万円	4百万円	129%

他会計への繰入金支出計

金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
153百万円	153百万円	100%	132百万円	21百万円	116%

《出えん等先の内訳》

出えん等先	用途	出えん等額(※7)	
		平成28年度	平成27年度
指定再資源化機関	離島対策等支援事業	153百万円	132百万円

※7 「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額

※8 他会計への繰入金支出の中科目間において、承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出から、未払再資源化預託金等利息支払支出へ17百万円の予算の流用を行った。なお、流用については、当財団会計規程にて、代表理事の承認を得て科目区分の大科目の中科目間において流用することができるとしていることから、当該規定に基づき実施した。

(単位:百万円)

科目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
他会計への繰入金支出			
－承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出	153	△17	136
他会計への繰入金支出			
－未払再資源化預託金等利息支払支出	-	17	17

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入

再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
51,071百万円	55,147百万円	93%	52,940百万円	△1,869百万円	96%

【予算との比較】

主に預託金輸出返還支出の出金額が想定を下回ったことから、特定資産取崩収入は、予算を下回った。

【平成27年度実績との比較】

主に預託金輸出返還支出の出金額が平成27年度実績を下回ったことから、特定資産取崩収入は、平成27年度実績を下回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出

再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成28年度			平成27年度 実績(c)	実績対前年度差異	
実績(a)	年度予算(b)	執行率(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
62,676百万円	62,570百万円	100%	58,470百万円	4,207百万円	107%

【予算との比較】

特定資産取得支出は、予算どおり。

【平成27年度実績との比較】

主に新車購入時の預託金預り収入の入金額が平成27年度実績を上回ったことから、特定資産取得支出は、平成27年度実績を上回った。

* 金額の表示について：百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。金額がないものは「-」、金額はあるが単位未満のものは「0」で表示している。なお、金額がマイナスの場合は「△」で表示している。